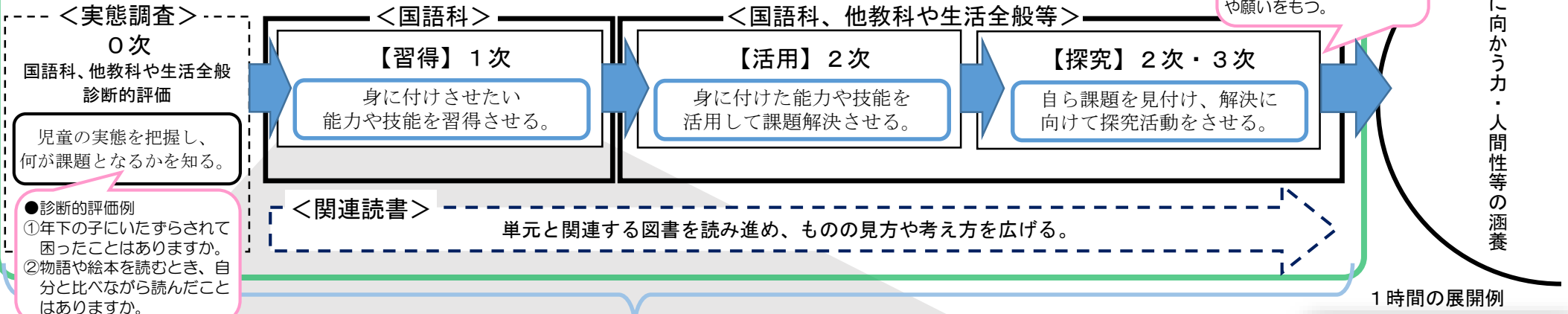


<研究の4つの視点>

(1) 単元全体を見通したカリキュラムデザイン

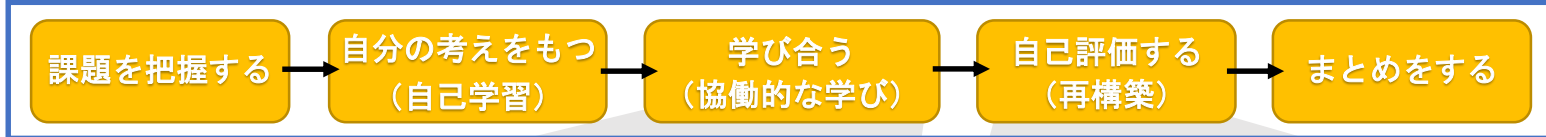
例：第2学年 単元名 「ふりかえろう、今の自分 ～じんぶつと自分をくらべて～」
教材名 『わたしはおねえさん』（光村図書2年下）「くらべる」シリーズ

●横断的な活動例
生活科『ひろがれわたし』
自分の生活を振り返り、
今後の自分の成長への思い
や願いをもつ。



(2) 主体的な学びのための学習過程の工夫

児童に付けさせたい力
①進んで学ぶ態度や力 ②自分の思いや考えをもつ力
③学び合う力 ④課題解決型の学習の方法や過程を学び、学習したことを生かす力



学習活動例	
課題把握	学習のめあてを確認する。
自己学習	一番心に残ったところを学習シートにまとめる。
学び合い	書いたものをペアやグループ、全体で交流する。
自己評価(再構築)	交流を基に学習の達成状況を確認、学習シートを見直す。
まとめ	学習の振り返りをする。

(3) 課題解決のための協働的な学びの場の設定

- 学び合いの目的
 - ・本時の学習のねらいの達成や学びの深まりを実感する。
 - ・人間関係を築き、自分の考えや思いを伝え合い、広げ深める。
 - ・話し合いの方法を学ぶ。
- 学び合いの視点の明確化
 - ・自分の思いや考えが適切かどうか確かめる。
 - ・興味をもったことや理由、考えを伝える。
 - ・相手の考えに対して自分の感想を伝える。
 - ・課題に即してグループの考えをまとめる。
 - ・多様な考え方や感じ方に気付き、思いや考えを広げ深める。

- 全体での学び合い
 - 自分の考えを再構築するための、評価基準の観点を取り上げる。
- 再構築のための発問例
 - T：これは、「一番心に残ったこと」の理由になっていますか。
 - T：「がんばりたいです。」とは、どんなことをがんばりたいのですか。

(4) 学びを深めるための評価

- 評価基準の明確化
 - 全体での学び合いを基に、課題に即して「何を」「どこまで(どの程度)」できていればよいかを確認する。
- 評価基準例
 - 一番心に残ったことについて、自分と比べて書くことができました。「一番心に残ったこと」「自分と比べて考えたこと」が書けている。…◎
 - どちらも書けているが、不足がある。…○
 - どちらか一方だけを書いている。…△
- 学習の成果の自覚
 - 低学年：評価の結果を基に自分の考えを見直す。
 - 中・高学年：評価の結果を基に自分の考えを修正し、再構築する。

- 【評価基準と評価規準】
- ・ 評価規準
 - 評価観点によって示された子どもに付けたい力をより具体的な子どもの姿として文章表現したもの
- ・ 評価基準
 - 評価規準に示された付けたい力の学習状況の程度を明示するための指標を数値、記号、文章表現で示したもの